Ｒ５近畿高体連定通部会　剣道部　申し合わせ事項　改訂２

1. 延長について

（１）個人試合・代表戦において延長になった場合の時間について

試合時間4分に合わせ、4分毎で区切り、延長2回毎に休息を入れる。

（２）1回目の休息は面をとり深呼吸を、2回目は水分補給を行う。各休息時間は定めていない。状況に応じて、審判団が判断する。

1. 個人試合における出場者数と対戦の方法について

（１）男女共に、出場者が5人までは１リーグ戦とする。

（２）男女共に、出場者が６～７人は、予選２リーグ制とし、

各リーグ上位2名（計4名）で決勝トーナメント（準決勝、決勝）を行う。

（３）男女共に、出場者が８人以上は、トーナメントを行う。

３．団体試合における出場チーム数と対戦の方法について

（１）男女共に、出場チーム数が5チームまでは１リーグ戦とする。

（２）男女共に、出場チーム数が６～８チームの場合、予選２リーグ制とし、

各リーグ上位2チーム（計4チーム）で決勝トーナメント（準決勝、決勝）を行う。

（３）男女共に、出場チーム数が９チーム以上は、トーナメントを行う。

1. 個人試合のシード権
2. シードが発生する場合は、前年度、個人試合の1位～3位にシード権がある。優先順位は1位、2位、3位の順番とする。シードが発生しない組み合わせの場合は、シード権を有する選手が4つの角に入る。その際、1位と2位が両端、3位がその中間に位置する。
3. 前年度の1位～3位の入賞者が残っていない場合、シードの枠をオープン抽選とする。
4. 個人試合の組み合わせ
5. シード権のある選手をはじめに入れる。
6. 各府県の選手が初戦で当たらないようにする。
7. 各府県の1位同士が初戦に当たらないようにする。
8. 初戦は各府県の上位者が他府県の下位者とあたるようにする。
9. 男女共に、同様の手順で組み合わせる。
10. 組み合わせに矛盾がないか、大会前に各府県に送信し、確認してもらう。

令和5年6月16日

兵庫県高体連剣道部定通支部委員長　　伊原浩平